2013年5月9日

各　位

オリックス株式会社
（コード番号：8591）

2013年3月期連結決算（2012年4月～2013年3月）
当期純利益は前期比34%増の1,119億円、4期連続で増益
～全6セグメントで増益を達成～

2013年3月期（2012年4月1日～2013年3月31日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前期比10%増の10,656億円、税引前当期純利益は同33%増の1,725億円、当期純利益は同34%増の1,119億円と、4期連続で増益となりました。

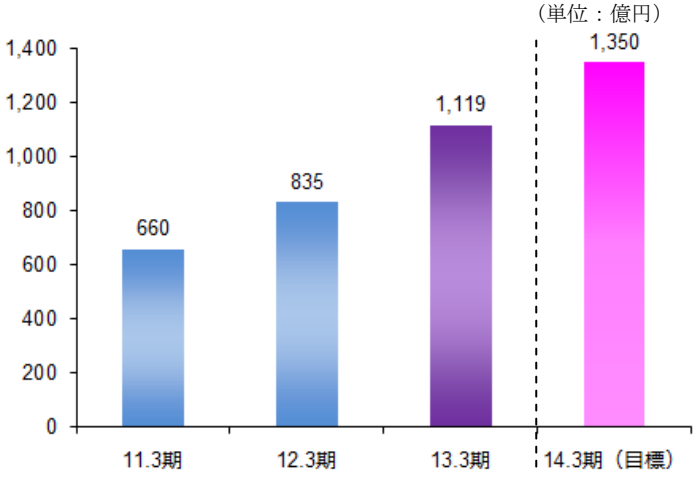
■　主な経営指標の推移

	2012年3月期	2013年3月期	増減率
営業収益	9,708億円	10,656億円	10%
税引前当期純利益	1,298億円	1,725億円	33%
当期純利益　（※）	835億円	1,119億円	34%

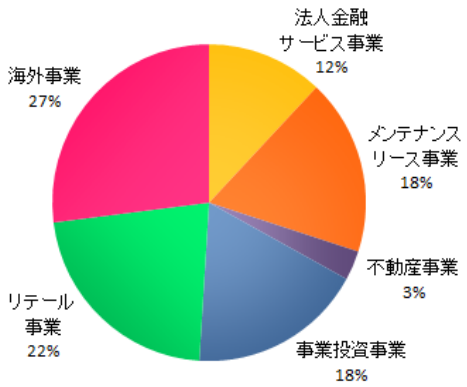
	2012年3月期	2013年3月期	増減率
総資産	83,328億円	84,397億円	1%
セグメント資産	60,021億円	62,027億円	3%
株主資本　（※）	13,807億円	16,436億円	19%
株主資本比率	16.6%	19.5%	―

（※）「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当期のセグメント利益内訳』



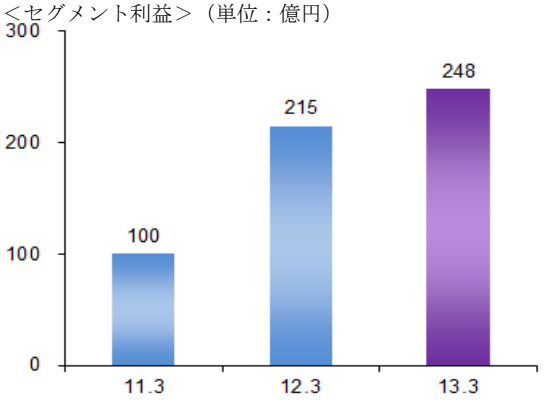
■　各セグメントの業績概要（2012年4月1日～2013年3月31日）

当期のセグメント利益は、全セグメントにおいて前期比で増益となりました。「事業投資事業部門」「リテール事業部門」が前期比倍増の大幅増益となり、「法人金融サービス事業部門」が堅調に推移するとともに、「メンテナンスリース事業部門」「海外事業部門」が引き続き高い収益性を確保しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス

＜セグメント利益＞（単位：億円）

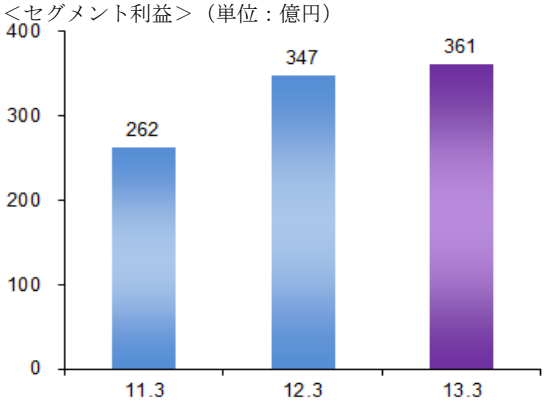


・新規実行高が増加し、ファイナンス・リース収益が堅調に推移。
・貸倒引当金繰入額が減少。
・セグメント利益は、前期比 15%増の 248 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

＜セグメント利益＞（単位：億円）

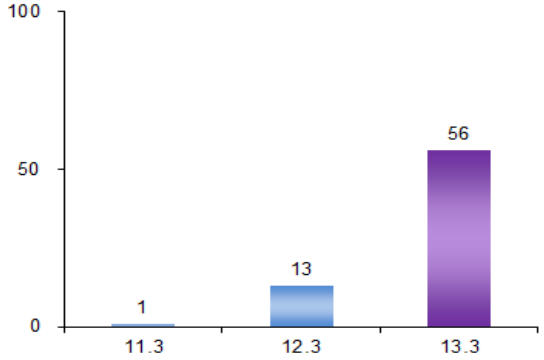


・企業のコスト削減ニーズなどに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は高水準で安定。
・新規実行高が順調に増加するとともに、オペレーティング・リース収益が堅調に推移。
・セグメント利益は、前期比 4%増の 361 億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

＜セグメント利益＞（単位：億円）

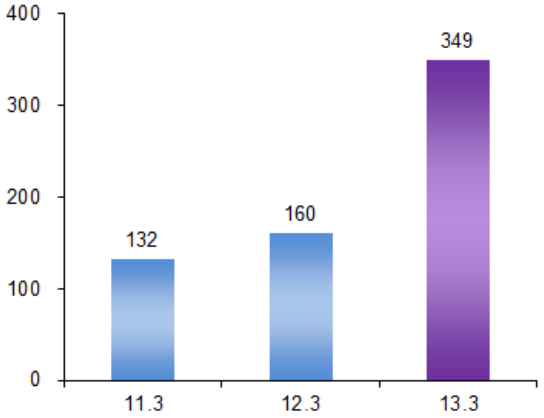


・運営事業からの収益が伸長するとともに、賃貸不動産売却益が増加。
・資産の売却を進め、資産圧縮が順調に進捗。
・セグメント利益は、前期比 314%増の 56 億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー関連、サービサー（債権回収）、プリンシパル・インベストメント

＜セグメント利益＞（単位：億円）

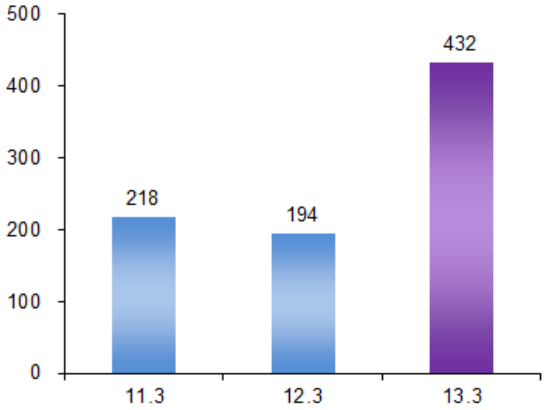


- サービサー事業における大口回収益に加え、㈱あおぞら銀行の株式売却益が貢献。
- 投資事業において、既存投資先ならびに新規投資先からの収益が堅調。
- セグメント利益は、前期比119%増の349億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

＜セグメント利益＞（単位：億円）

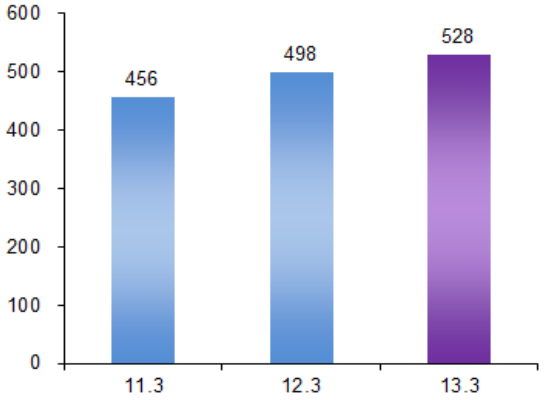


- 生命保険事業は、保有契約数の増加により、収益が順調に伸長。
- 連結子会社となったオリックス・クレジットが収益に貢献。
- セグメント利益は、前期に持分法適用関連会社のマネックスグループ㈱の株式評価損を計上した影響もあり、前期比 123%増の 432 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、船舶・航空機関連

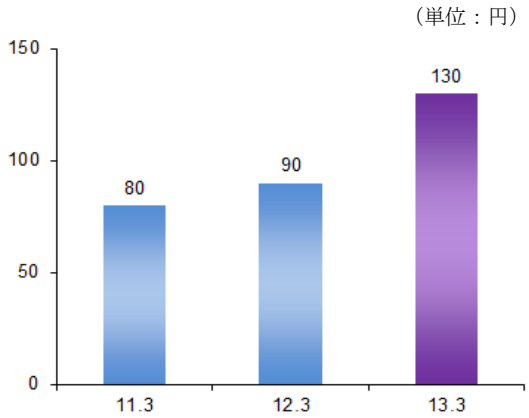
＜セグメント利益＞（単位：億円）



- アジアのファイナンス・リース収益や自動車・航空機のオペレーティング・リース収益が堅調に推移。
- 米州での手数料収益が増加。
- セグメント利益は、前期比 6%増の 528 億円を計上。

■　当期の配当金

金融危機前の配当水準に戻すに足る収益性、安定性を備えたことを踏まえて、当期の１株あたりの配当金は、前期の90円から40円増配し、130円といたします。



■　2014年3月期の連結業績目標と今後の方向性

2014年3月期は、営業収益は当期比13％増の1兆2,000億円、当期純利益は同21％増の1,350億円を目指します。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。
URL　：　http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

グループ広報部　渋谷・堀井　TEL：03-3435-3167